

オットーボックはパラリンピック東京大会での選手のサポートを継続します

2020-03-24

IPC(国際パラリンピック委員会)はパラリンピック大会を一年程度延期することを決定しました

2020年3月24日に国際オリンピック委員会(IOC)は新型コロナウイルスのパンデミック(世界的な流行)への配慮から、オリンピック大会を2021年まで延期することを決定しました。国際パラリンピック委員会(IPC)も直ちにこの決定を支持することを表明しました。

今回の大会延期の連絡を受けて、オットーボックのオーナーであり、オットーボック理事会会長であるハンス ジョージ ネーダーは、「パラリンピックへの熱い思いは弊社のDNAとして深く根付いています。この空前の危機に対して、私たちは一致団結して戦わなくてはなりません。大会の延期は当然のことで、今は選手、観客そして全世界のパラリンピックファミリーの健康を守ることが極めて重要です。皆さんの健康をお祈りしています。」と語っています。

東京2020パラリンピックオフィシャルサポーターとして、大会期間中、オットーボックは参加する全選手に対し、全ての修理サービスを無償で提供します。「大会が1年後に延期されても、東京2020パラリンピック競技大会に世界中から参加する選手をサポートするのをとても楽しみにしています」とオットーボックのパラリンピック統括マネージャーであるピーター フランツェルは語っています。

IPCの声明はこちらをご覧ください。

<https://www.paralympic.org/news/ipc-reaction-tokyo-2020-paralympic-games-postponed>